

145

福島原発事故で学んだ何を次世代に伝えるか？

東日本大震災に伴って発生した福島原発事故は、日本国民に大きな不安を生じさせるとともに、国民の科学に対する信頼を大きく揺るがしている。このような事態を招いた原因は、緊急事態に対応するために必須な(1)社会を作る人達との協働精神と(2)科学知識を基盤とした論理的行動力が、我々、日本国民に大いに不足していたことにあるのではないかと考える。その反省を基に、本企画は、福島原発事故後、日本各地で放射線影響教育支援をおこなってきた



放射線研究の専門家が、自分の経験から学んだことを基に「福島原発事故から学んだ何を次世代に伝えるか」を出席者とともに議論し、提案することを目的として企画した。多数の方に、この議論へ参加していただけることを期待している。

企画提供者	日本放射線影響学会－福島原発事故対応グループ
開催日	11/26（日）10:30-12:00
会場	8階 会議室C
形式	セッション（会議室）
URL	http://rbnet.jp/shiryo/170331fukushima.pdf
備考	

【当日申込み枠の定員】50名

【来場者の当日申込み】先着順

タイムテーブル：

11月26日（日）

10:00 受付
10:30 事例紹介 (3件、各10分間)
11:00 討論
11:50 まとめ
12:00 終了

[プログラム一覧ページに戻る](#)